

# 3次元設計データ作成 (LandXML 読み込み)

3次元設計データ作成(オプション)で、  
LandXMLデータ(路線データ)を読み込み、  
基本設計データを作成する操作を解説します。

※解説内容がオプションプログラムの説明である  
場合があります。ご了承ください。



## 3 次元設計データ作成 (LandXML 読み込み)

1. 新規工事作成	1
1-1 新規工事を作成する	1
2. LandXMLデータの読み込み	3
2-1 [建設CAD]を起動する	3
2-2 LandXMLデータを読み込む	4
3. LandXMLデータの確認	5
3-1 平面データを確認する	5
3-2 縦断データを確認する	7
3-3 横断データを確認する	8
4. TS出来形用の属性の確認・設定	9
4-1 横断の構成点の属性を確認・設定する	9
4-2 工種を確認・設定する	10
4-3 出来形管理箇所を確認・設定する	11
4-4 3Dモニタで確認する	12
5. 基本設計データ(XML)出力	13
5-1 データを保存する	13
5-2 基本設計データを書き込む	14

# 1 新規工事作成

[EX-TREND武蔵 インデックス]を起動して、新規に工事を作成してみましょう。

## 1-1 新規工事を作成する

[EX-TREND武蔵 インデックス]の[新規工事]の[新しく工事を作成する]で新規に工事を作成します。

### Check

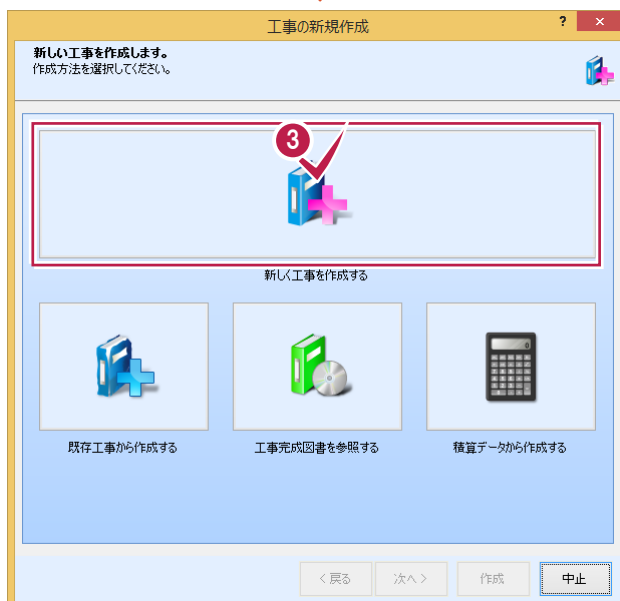
[EX-TREND武蔵 インデックス]の起動方法、新規工事の他の作成方法については、「各種資料(土木)¥武蔵¥入門編」フォルダー内の「001\_はじめてみよう!インデックス.pdf」を参照してください。



- 1 デスクトップの[EX-TREND武蔵 インデックス]をダブルクリックします。



- 2 [EX-TREND武蔵 インデックス]が起動します。  
[新規工事]をクリックします。



- 3 [新しく工事を作成する]をクリックします。

## 1. 新規工事成成

工事の新規作成

工事の基本情報を入力します。  
工事名称を入力してください。それ以外は後からでも変更できます。

4

工事名称: 3次元設計データ作成サンプル工事(LandXML読込)

発注年度(西暦): 2014

工事番号

工事箇所

河川路線名等

工期開始・終了日: 2014年10月24日 ~ 2014年12月24日

請負金額: 0 円

工事内容

電子納品を行う

要領・基準案の選択...

成果設定: 出荷時設定 武蔵

CORINS読み込み...

アイコン

工事カラー: ここをクリックします

5

作成

- 4 工事情報を入力します。  
工事名称、発注年度(西暦)、  
工事番号、工事箇所、河川路線名等、  
工期開始・終了日などを入力してください。
- 5 [作成]をクリックします。



EX-TREND武蔵 インデックス

ファイル(E) 工事(K) 分組作業(S) 表示(I) ツール(T) ヘルプ(H)

名称	工事数	工事名称	施工状況	工期開始日	工期終了日	最終更新日	サイズ	持ち出し	説明
グループ	1	3次元設計データ作成サンプル工事(LandXML読込)	着工前	2014/10/24	2014/12/24	2014/10/24	51 KB		
すべて表示	1								
持ち出した工事	0								
ごみ箱	3								

今日のイベント: 0件 | グループ: グループ | C:\%App%\EX-TREND武蔵\工事データ\3次元設計データ作成-3

# 2 LandXMLデータの読み込み

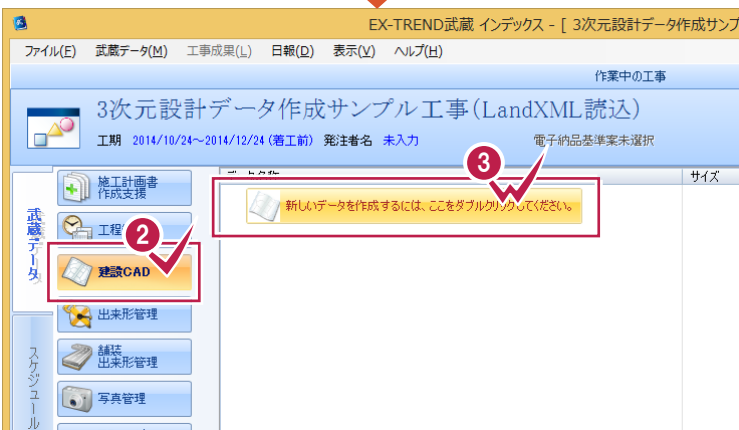
[建設CAD]を起動して、LandXMLデータを読み込んでみましょう。

## 2-1 [建設CAD]を起動する

[建設CAD]を起動します。

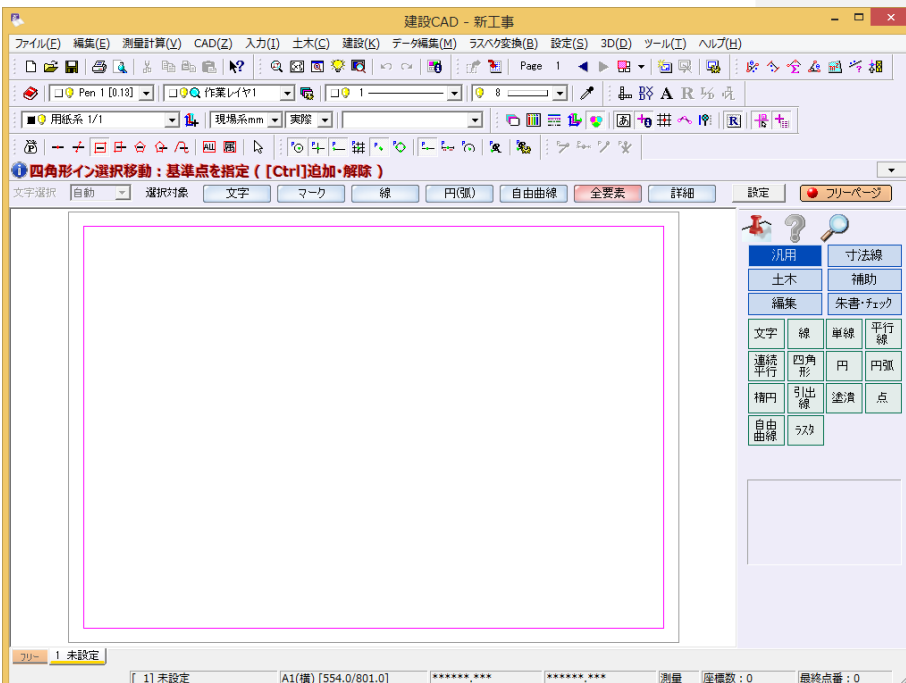


1 作成した工事をダブルクリックします。



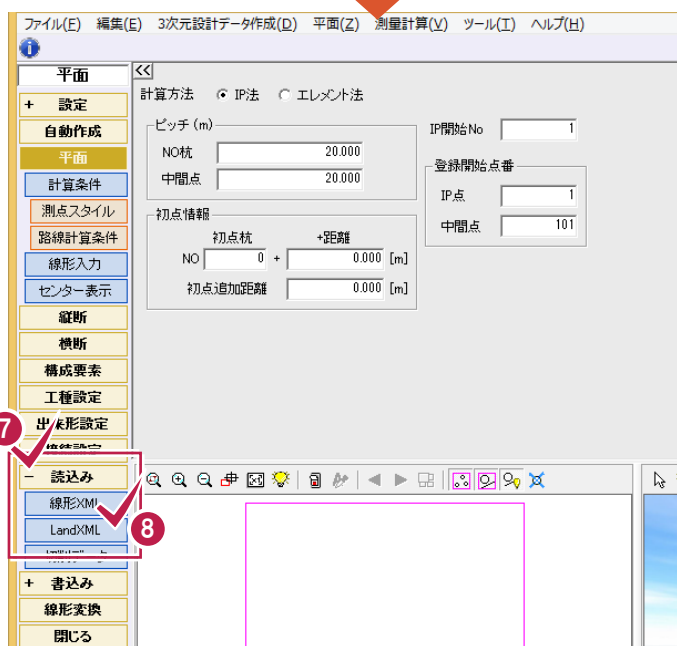
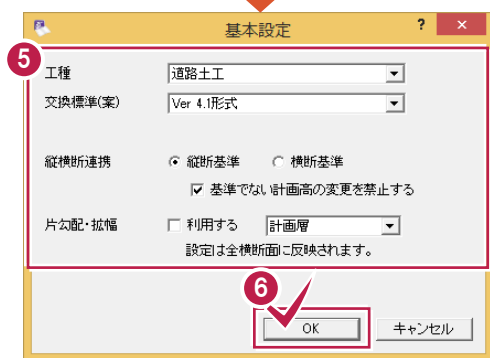
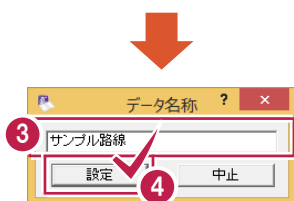
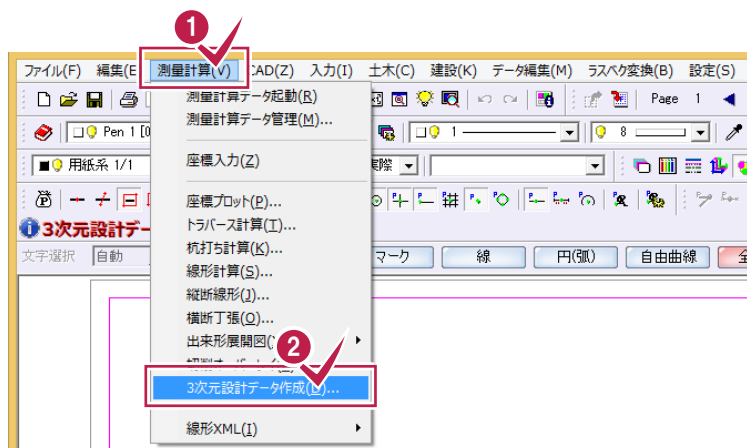
2 [建設CAD]をクリックします。

3 [新しいデータを作成するには、ここをダブルクリックしてください。]をダブルクリックします。

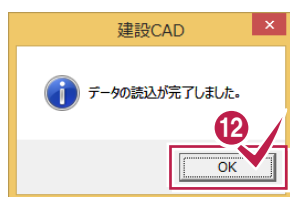
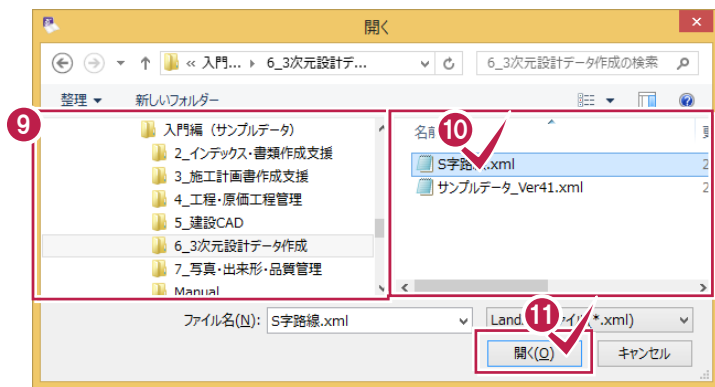


## 2-2 LandXMLデータを読み込む

[3次元設計データ作成]を起動して、LandXMLデータを読み込みます。



- 1 [測量計算]をクリックします。
- 2 [3次元設計データ作成]をクリックします。
- 3 データ名称を入力します。
- 4 [設定]をクリックします。
- 5 工種、交換標準(案)、縦横断連携を設定します。
- 6 [OK]をクリックします。
- 7 [読み込み]をクリックします。
- 8 [LandXML]をクリックします。



9 LandXMLデータが保存されているフォルダーを選択します。

10 「S字路線.xml」をクリックします。

11 「開く」をクリックします。

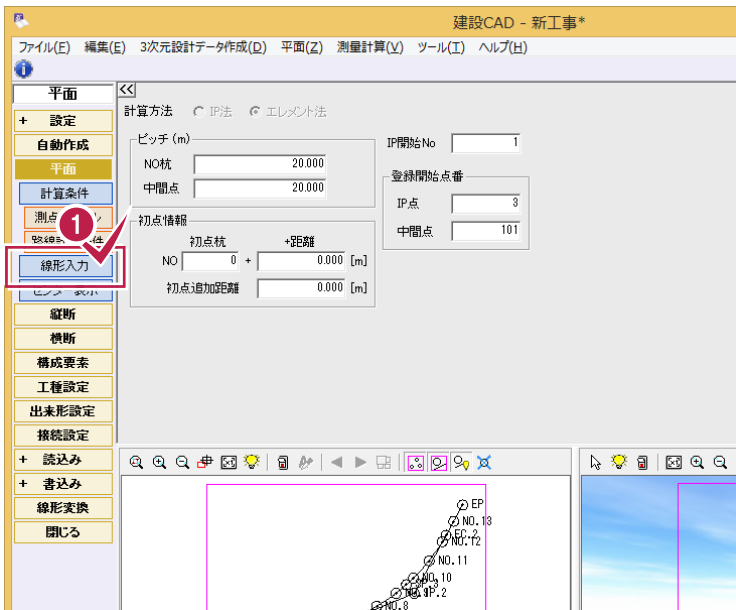
12 「OK」をクリックします。

# 3 LandXMLデータの確認

読み込んだLandXMLデータを確認してみましょう。

## 3-1 平面データを確認する

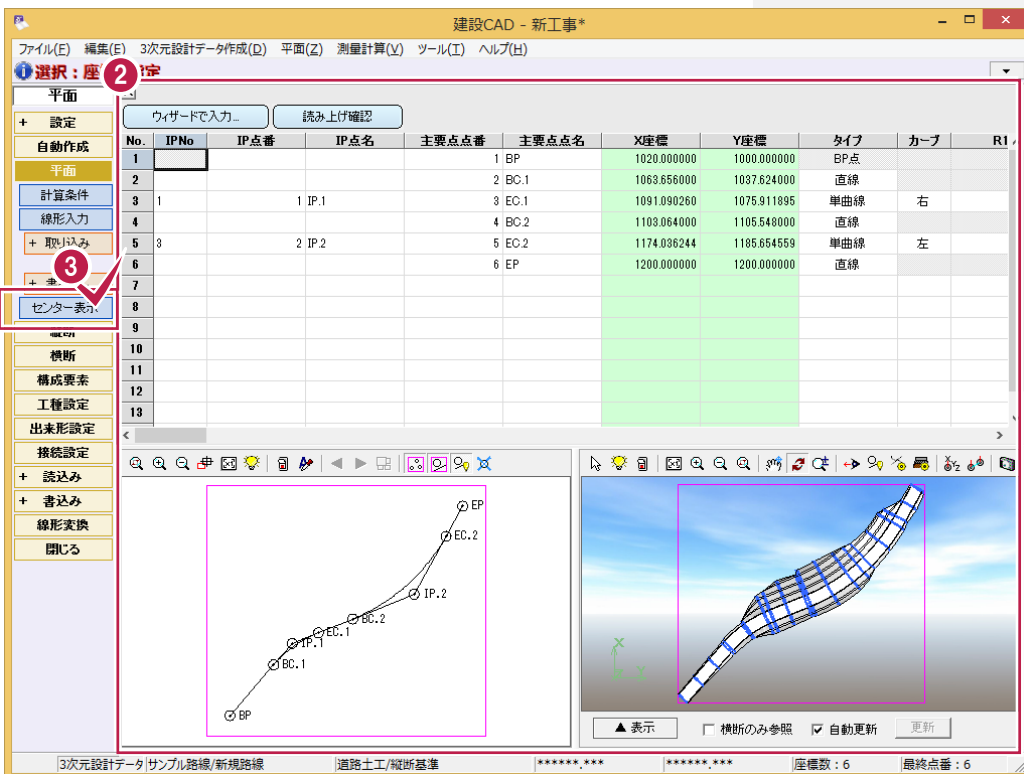
平面データを確認します。



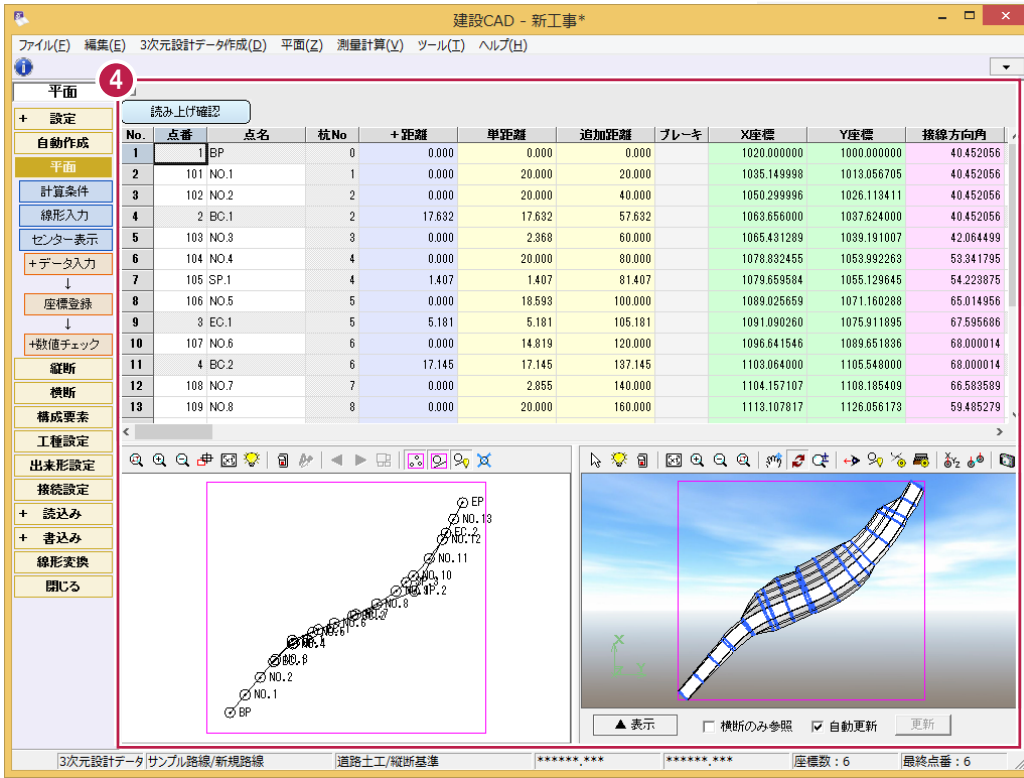
1 [線形入力]をクリックします。

2 線形データを確認します。

3 [センター表示]をクリックします。



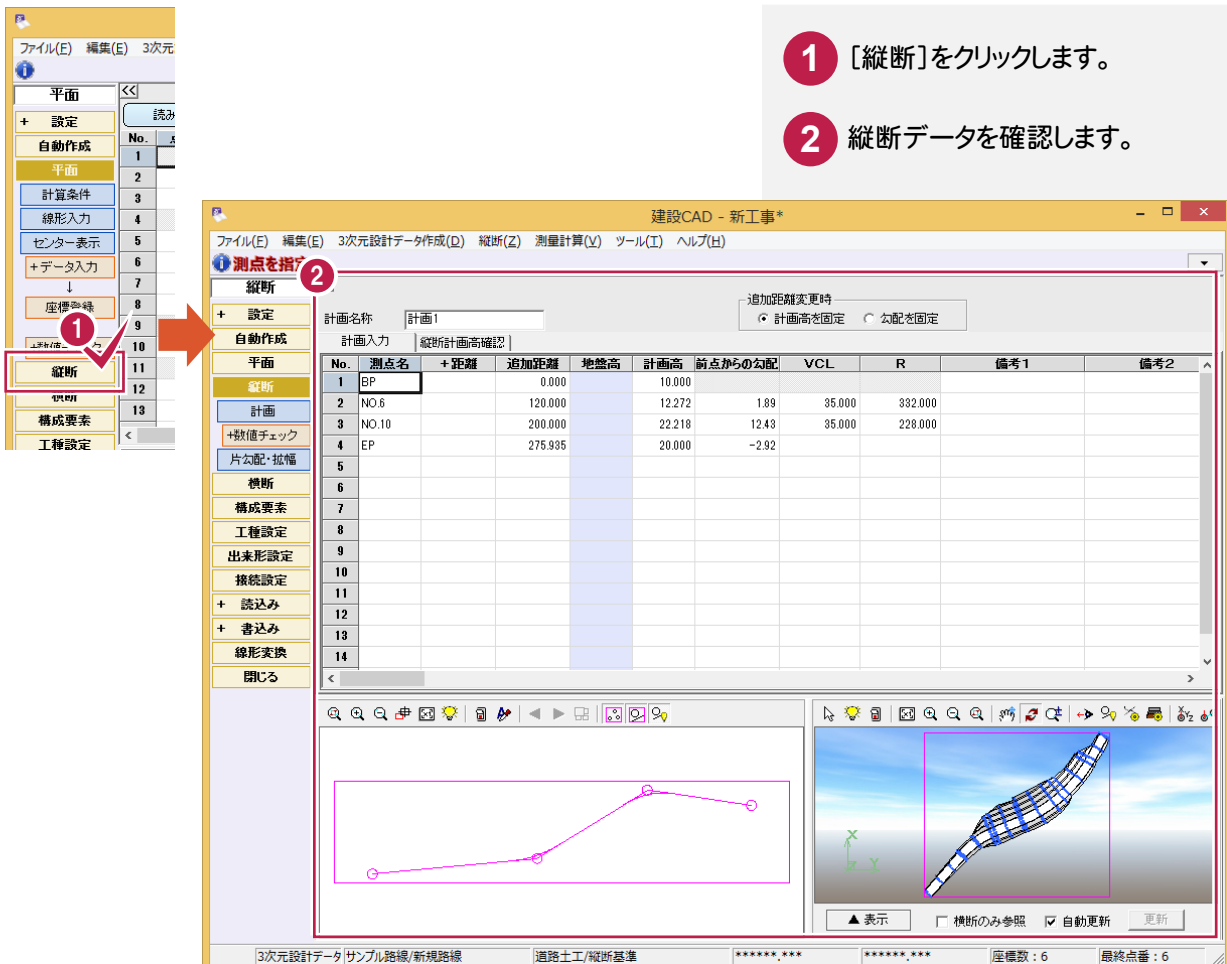




4 センターのデータを確認します。

## 3-2 縦断データを確認する

縦断データを確認します。



1 [縦断]をクリックします。

2 縦断データを確認します。

# 3-3 横断データを確認する

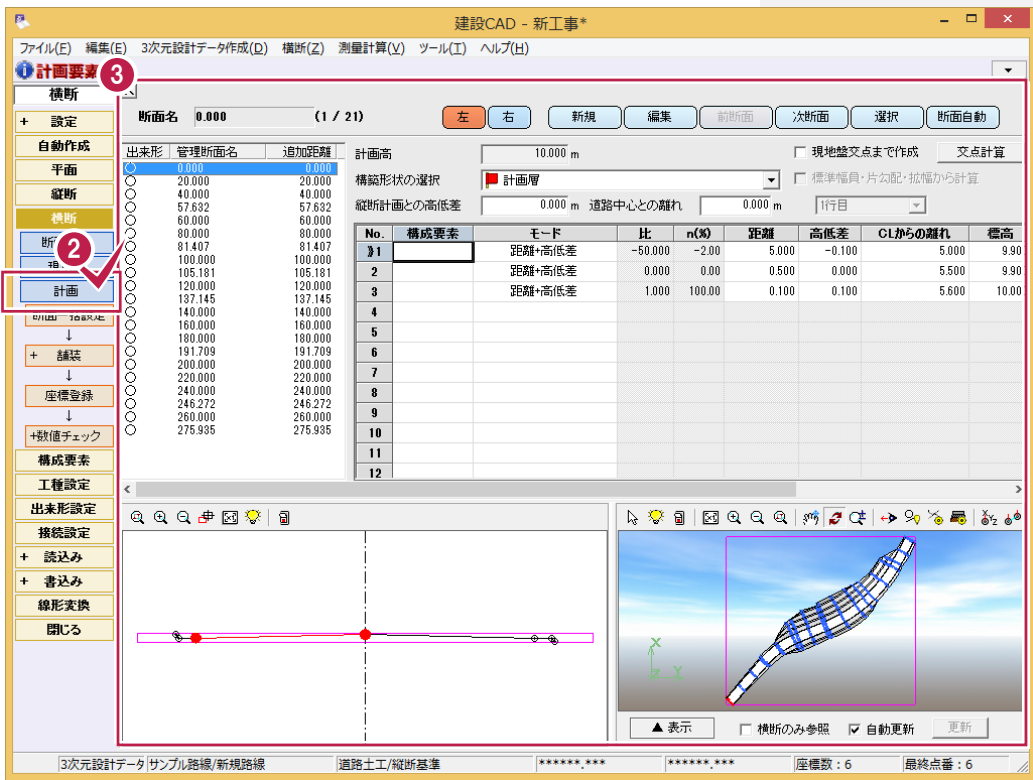
横断データを確認します。



1 [横断]をクリックします。

2 [計画]をクリックします。

3 断面を選択して、横断データを確認します。

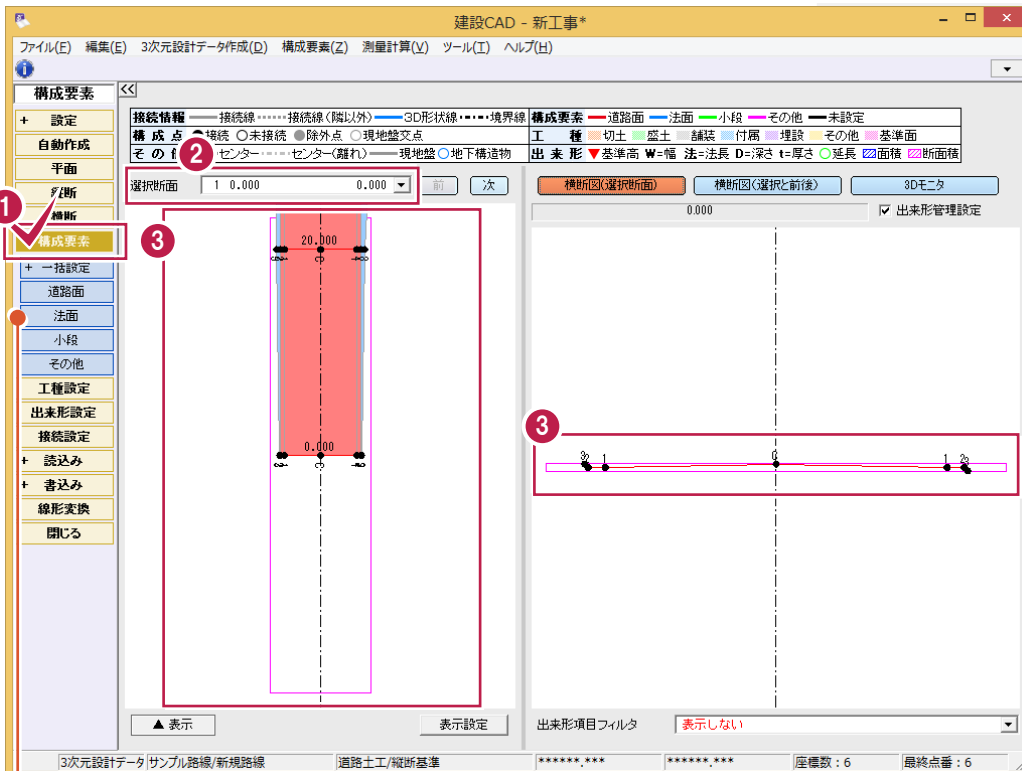


# 4 TS出来形用の属性の確認・設定

TS出来形用の属性を確認・設定します。

## 4-1 横断の構成点の属性を確認・設定する

[構成要素]で横断の構成点の属性(道路面・法面・小段・その他)を確認・設定します。



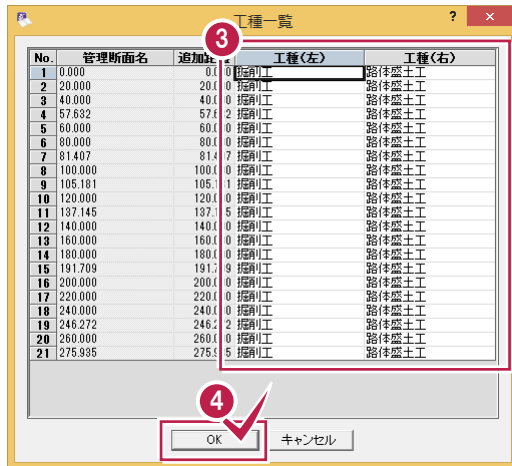
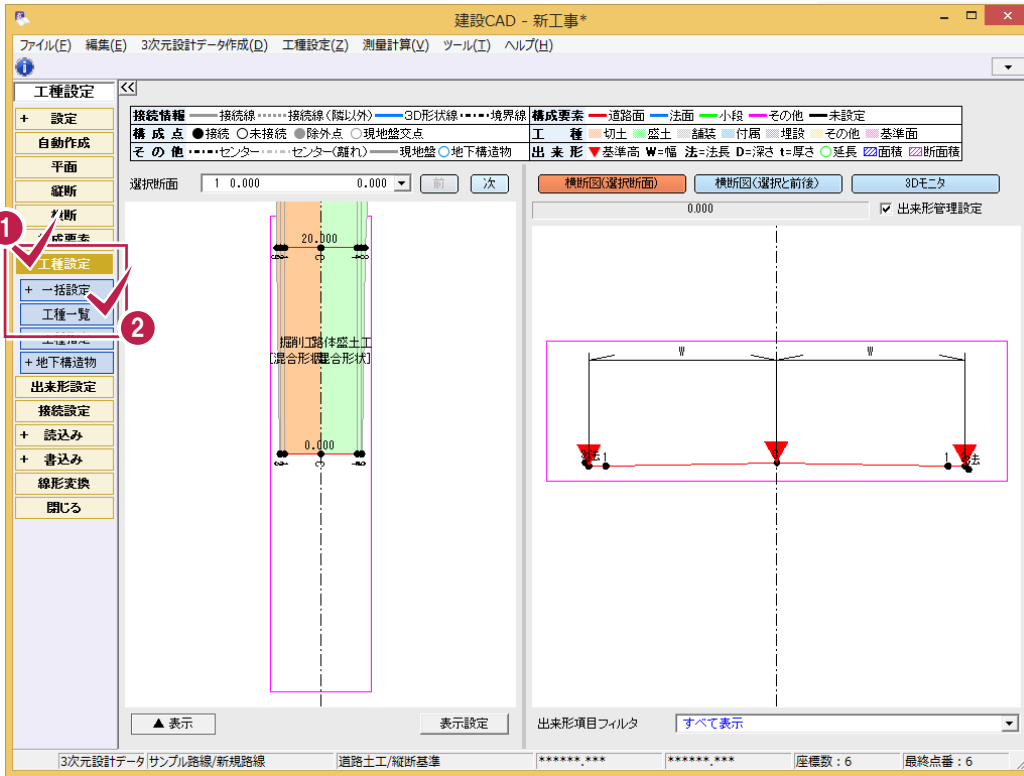
[構成要素]の[道路面][小段][法面][その他]で構成要素を設定します。

- 1 [構成要素]をクリックします。
- 2 断面を選択します。
- 3 平面線形、横断面図で構成要素を確認・設定します。

# 4-2

## 工種を確認・設定する

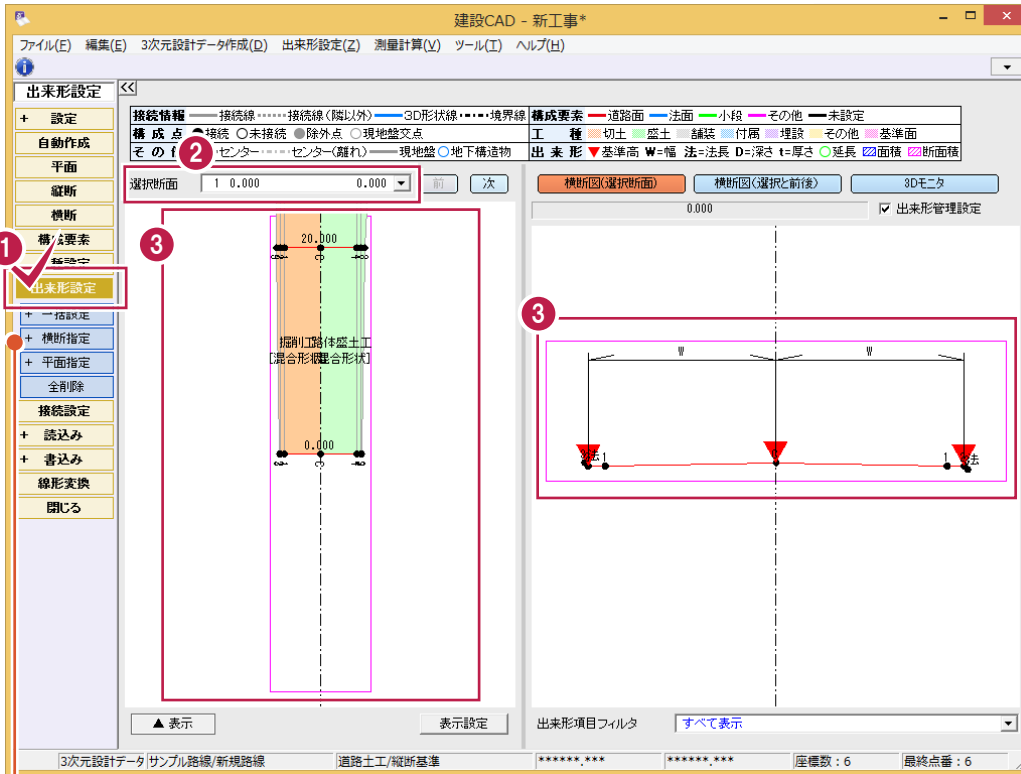
[工種設定]で工種を確認・設定します。



- 1 [工種設定]をクリックします。
- 2 [工種一覧]をクリックします。
- 3 工種を確認・設定します。
- 4 [OK]をクリックします。

## 4-3 出来形管理箇所を確認・設定する

[出来形設定]で出来形管理箇所を確認・設定します。

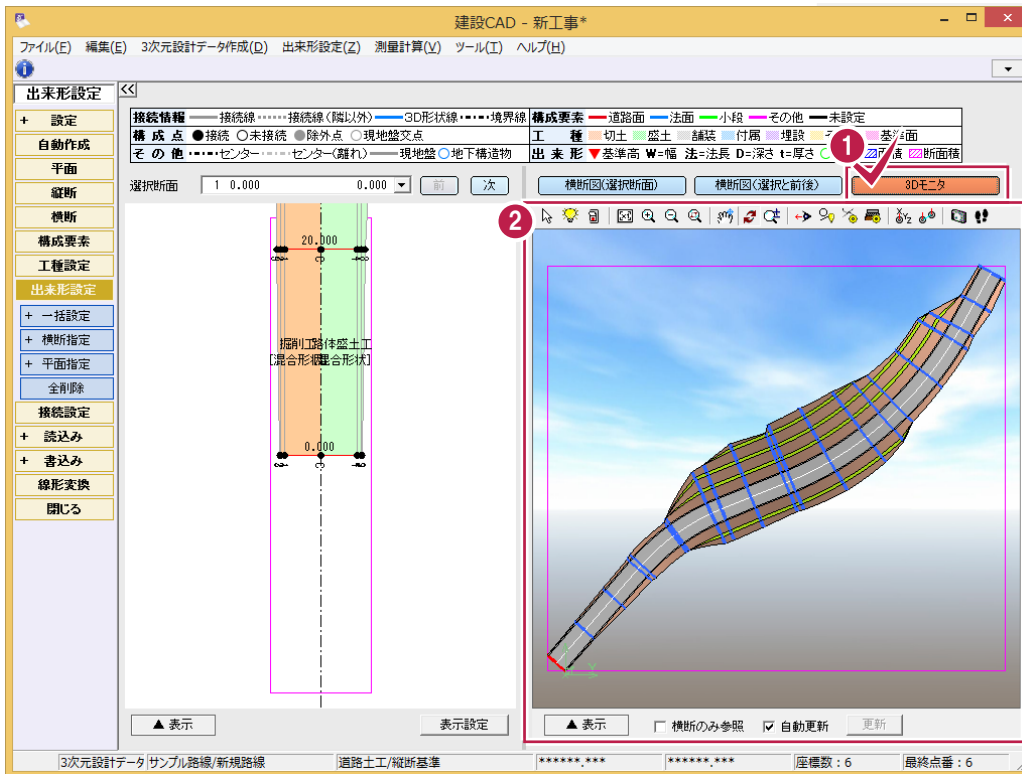


[横断指定]の[基準高][幅][法長][深さ][厚さ][断面積]で基準高、幅、法長、深さ、厚さ、断面積を設定します。  
[平面指定]の[延長][面積]で延長、面積を設定します。

- 1 [出来形設定]をクリックします。
- 2 断面を選択します。
- 3 平面線形、横断面図で、出来形管理箇所を確認します。

## 4-4 3Dモニタで確認する

3Dモニタで確認します。



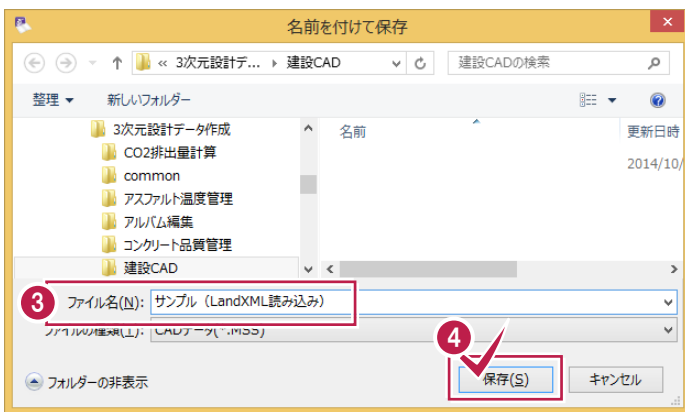
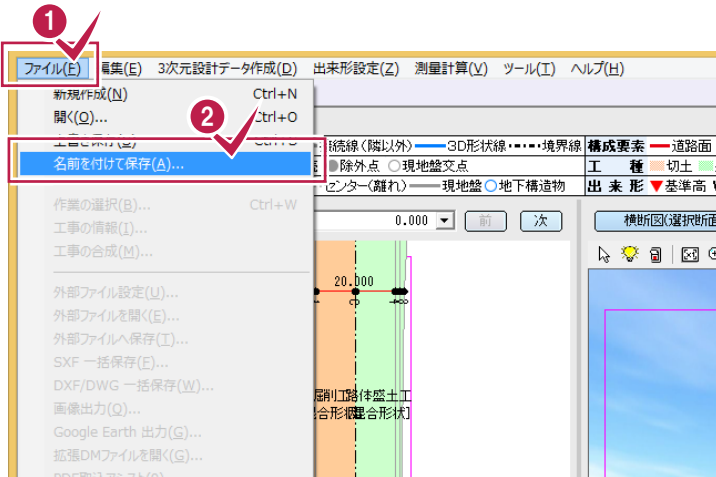
- 1 [3Dモニタ]をクリックします。
- 2 3Dモニタで確認します。

# 5 基本設計データ(XML)出力

基本設計データを出力してみましょう。

## 5-1 データを保存する

データを保存します。

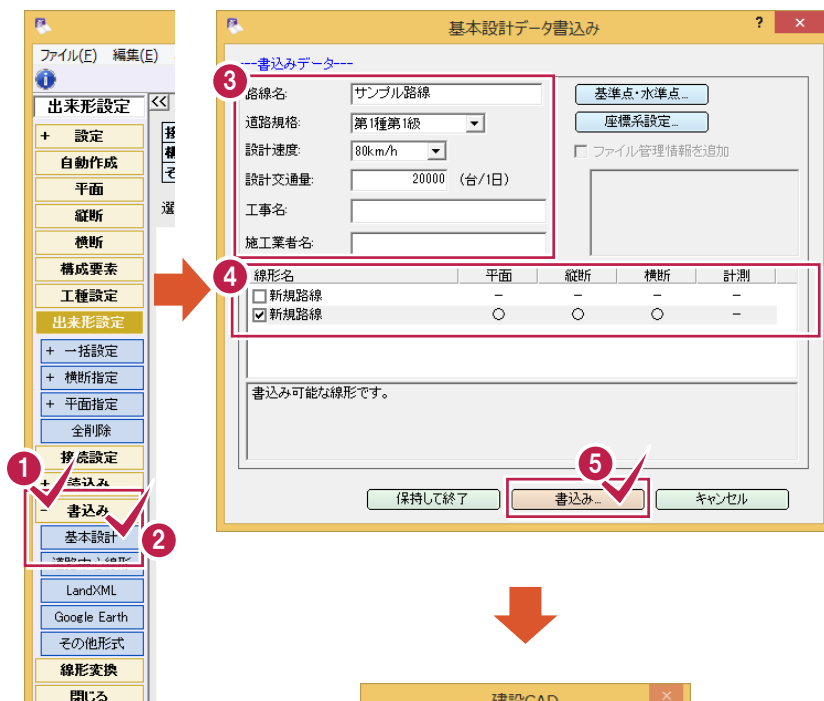


- 1 [ファイル]をクリックします。
- 2 [名前を付けて保存]をクリックします。

- 3 ファイル名を入力します。
- 4 [保存]をクリックします。

## 5-2 基本設計データを書き込む

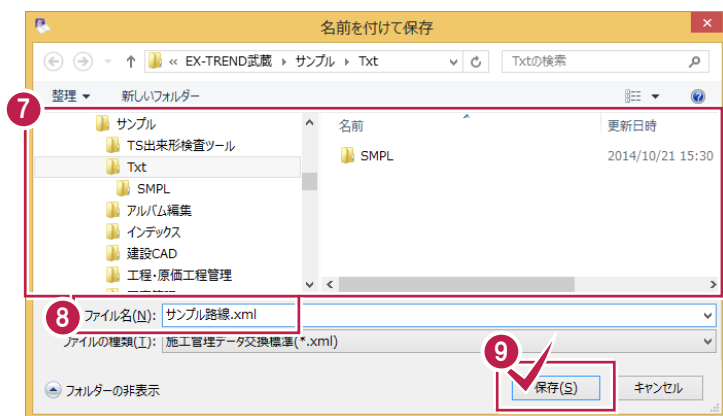
基本設計データを書き込みます。



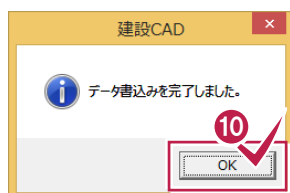
- 1 [書き込み]をクリックします。
- 2 [基本設計]をクリックします。
- 3 路線名、道路規格、設計速度、設計交通量などを設定します。
- 4 書き込む線形データのチェックがオンになっていることを確認します。
- 5 [書き込み]をクリックします。



- 6 [いいえ]をクリックします。



- 7 フォルダを指定します。
- 8 ファイル名を入力します。
- 9 [保存]をクリックします。



- 10 [保存]をクリックします。